

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス フェアネット		
○保護者評価実施期間	令和6年 7月 1日		～ 令和6年 7月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和6年 7月 1日		～ 令和6年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ほぼマンツーマンによる支援が行えており、きめ細やかな対応ができる。	・担当同士で気になったことなどがあつたときは、すぐにケース会議を行って情報共有をしている。	・職員一人一人が、担当以外の児童にも目を向け、個々のケースアセスメントを把握しておける表づくりなどをしていく。
2	・職員の入れ替わりが少なく、安定した支援が提供できている。		
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・マンツーマン対応ということで、担当以外の児童への関心が薄い。	・個別の支援を意識しすぎて、全体への配慮に欠けてしまう傾向がある。 ・職員全体で話し合える時間の確保が難しい。	支援者一人一人がもっと全体を見て考えられるように、担当以外の児童に対しての、アセスメントの理解と情報共有をすすめる場を増やしていく。
2	・ワンフロアしかなく、個別の対応をするのが難しい		・ついでに使うなどで部屋を仕切り、個別に対応できる工夫をしていく。
3	・働き方改革の影響と日替わりで出勤しているスタッフがいることもあり、全体で話し合える時間が少ない		・隙間時間を工夫して全体会議が持てるようにしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス フェアネット

公表日 令和7年 1月 15日

利用児童数 27名

回収数 17

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	3				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		1	・1人につき1人の職員の方がついて下さりありがたく思っております	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1			・いつも子供にあった活動ができるよう考えていただいております	
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3		1	11		地域交流がなかなか難しい児童が集まっていますが、近隣の公園を利用したり、公共機関（図書館・交通機関）などを利用することで、利用している人と間接的にも交流できる機会を設けています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1		3		グループ向けの支援は行っていないので見えにくいと思いますが、個別に家族支援を行っております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15				・いつも丁寧な説明をいただいております	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	1	4		保護者会などができるよう計画を立てていきたいと思っております。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	4		6		個々への活動報告は行っていましたが、全体としての報告ができていなかったため不定期で保護者向け通信などの発行を検討いたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1		2		・訓練の報告を毎回受けております
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2		1		各曜日の避難訓練は行っています。今年度は2月に曜日限定ではありますが、一斉引き取り訓練を実施する予定です。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14					・いつもはりきって出かけます。親としてそのことが一番うれしい事なので、フェアネットさんへ通わせていただいております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14					・毎回楽しみに通所しております ・「今日は〇〇さんと□□するんだ」とはりきって登所しています
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1				・大変満足しております

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス フェアネット		公表日 令和7年 1月 15日		
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	4	・児童ひとりに職員が基本ひとり付くのできめ細やかな対応ができると思う。・児童のいる部屋が時間・曜日によって狭く感じる時がある。・利用児が大きくなり手狭。・クールダウンできる場所が作りにくい。	・近くの公園など利用することで、地域交流を図るとともに、体を動かすことで運動促進を行いながら、室内のスペースを確保する工夫を行っていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・ほぼマンツーマンなので適切であると思われる。・人員配置上マンツーマンでつけられない時、「フリー」という言葉を使ったり、シフトに記入しないことで、気にしている利用児がいる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	5	・足が不自由な児童には、備品（トランポリン・机・ハンモック）が邪魔な場面がある。・ごちゃごちゃと片付いていない場所（棚や机の上）がある。・刺激になったり、気が散ってしまうこともまれにある。	・ピクトグラムを活用するなど目で見て分かりやすい環境を整えていく。 ・整理整頓を心掛ける誰でも安心して過ごせる空間づくりをしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	4	・毎日支援後、消毒液を使用して清掃している。・車も一つの部屋として使用。・大がかりな掃除（棚やエアコン、サーキュレーターや車内）をする時間を作れていない。	・送迎車に関する清掃がいき届いておらず車内が汚れていることがあったので、こまめに清掃をしていけるようなシステムづくりを行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	7	・予備の部屋がないので着替えetc…不自由である。・トイレが1か所なので、着替えスペースがなくやむを得ずキッチンを目隠しして使用。	・仕切り版を使用したり、マットを引くなど個人のスペースを確保できる工夫をしていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	4	・時間がとれていない。・今年度になって定期的にケース会議を行っている。・少しずつ意識改革が進んでいるように感じる。	・全体でのケース会議に加えて小グループでの話し合いの場を作り、常に情報を共有しながら業務改善を行っていけるようにする。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・全員が担当以外の利用児に対しても関心を持つことが必要。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・分かりません。・さいな会話からひろった意見を常動間で共有して対応するよう意識している。	・常勤職員だけではなくスタッフ全体として情報を共有していけるよう伝達を怠らないようにしていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・分かりません。・不明。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・機会はあるが、時間的に厳しい面がある。・研修案内は、誰もが見られるように公開しているが、参加は各自に一任している。・各自積極的に参加しているかという点不明。	・積極的な研修への参加とリーオンミーの併用で学ぶ機会を増やしていく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	・未作成かと。	・個別支援計画を日々の記録表へ転記し、常に確認しながら業務が行えるようにしていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			・職員の技術向上のための研修を行っていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			・モニタリングを定期的に行い、職員間で共通理解をしていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	4	・今年度から氷山スケールを導入した。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2	・ばらつきがあったり、利用時間が短い高学年にはもう少し検討すべきかと。	・大雑把な計画ではなく個々のニーズに合わせた細かい計画を立てて実行していけるように、研修を行い支援につなげていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	3		・マンツーマンでの対応であるが、集団での活動も意識しチームで共通の目的意識を持った活動ができるようにプログラムを立案していく。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	2		・季節に応じたプログラムなどを取り入れ、固定化しないようにしていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			・マンツーマンの個別支援と、外出支援の集団活動を組み合わせて行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	7		・毎日ではないが週単位で打ち合わせを行い支援につなげている。・ケース会議が行われるようになった反面、日々の振り返り時間が確保できにくい。・出勤時間や送迎時間の都合上、全員が情報共有しにくい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		8		・問題があった場合は、その都度共有するようにしている。・終了後ではなく翌日や翌週行っていたが、上記の通り、確保しにくい状態。・2～3名で10～15分程度話したことも記録を残すようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		・ヒヤリハットの記録が徹底されていない。・「よくないこと」ではなく「よくしていくために必要な情報提供」と考えて記録していきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2		・利用時間が短い児童に関して行えていない。・「時間が短い」ことを条件にどう工夫するか考えていくようにしたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1		・ばらつきがある。特に、意思表示が弱い利用児への対応は、どこまでできるか、どうしたら表出できるか細かなアセスメントが必要。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		分からない。・松風園の傘下になって、PTに来てもらうなど、少しずつ進み始めたと感じる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1		・学校の使用しているマチコミメールなどを登録して、連絡調整がスムーズにいくよう今後もしていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		・不明
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		分からない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		他のクラブとの交流は行っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		分からない。・限られた職員のみ。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			・送迎時に頼らず家族支援や家族サポートなどを活用して共通理解を深め、家族の困りごとやニーズに対応していけるようにしていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			分かりません 2。・チラシを配る程度。 ・自己開催はしていない。 ・デイで行った支援とその経過を伝え、一つの方法として提案することは増えている。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		・分かりません。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			・分かりません。 ・子供のアセスメントが行われてはいない。 ・行動分析や、普段の会話からの推測が主。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5	?	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	4		・個々の活動の様子は、写真を添えてお伝えしているが、全体の様子を公表する場が存在していない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			・表出手段が限られた利用児が多いので職員のスリルアップが必要。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		・松風園としては行っているが、デイ単体としては行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			・以前よりも訓練を実施しているが、送迎中や買い物など個別に行動していた場合での訓練や避難方法の確認が必要。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	2		・全利用児を全職員が把握できているかは不明。 ・書庫ではなく、すぐ確認できるようなシートが必要かもしれない。 ・発作がある児童への対応や服薬などをまとめた資料を作り、個人情報に配慮しながら職員間で共通理解しているようにしておく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4		・分かりません。・意志ではなく、家族からの情報提供。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3		分かりません。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			分かりません。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			・共有できる状態ではあるが、各々が意識して、確認しているか、確認できる時間が用意されているかは不明。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			・自分たちの行動を振り返る意識を全員が持っているかは不明。 ・定期的な虐待防止研修を行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			・身体拘束と行動制限との違いが周知されていない。 ・個々の判断で線引きしている様子がある。 ・身体拘束と行動制限についての研修を行う。	